・・・本日の礼拝メッセージ・・・

《テーマ》「あなたは、神の栄光の器です。２」

・・あなたが救われたのは神の栄光を現すため・・

《みことば》イザヤ 43:7

「わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、
わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。」

Ｉコリント 6:19～20

「19 あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。
20 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現しなさい。」

《先週のメッセージ》

1、あなたがイエス様によって救われているなら、神の栄光が輝きます。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」　イザヤ 43:4a

a、多くの人々は神様から離れ・罪のために『自分は価値の無い者、役に立たない者』と思っています。

b、誰でもイエス様の十字架のもとに来るとき、罪赦され・愛されていることを知り、神の栄光が輝きます。

「23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、　ローマ３：23～24
24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。」

2、あなたが礼拝を捧げ、神をほめたたえる時、神の栄光が輝きます。

a、主の前に出て、礼拝を捧げ・神の栄光を輝かせましょう　詩編 96:6～9

b、主の前に賛美を捧げ、神をほめたたえるならそこに神の栄光が輝きます。　詩編 66:1～2

「御名の栄光をほめ歌い、神への賛美を栄光に輝かせよ。」【新改訳改訂第３版】

c、キリストを信じた者の存在目的・生きる目的はその人が「神の栄光をたたえること」です。

「それは、前からキリストに望みを置いていた
わたしたちが、神の栄光をたたえるために生きるようになるためです。」　エペソ 1:12

『ウェストミンスター信仰問答』　第一問：「人間の主な、最高の目的は何であるか。」
答：「神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶことである。」

《今週のメッセージ》

3、みことばによる信仰の行動・挑戦する時、神の栄光が輝きます。

a、神を信じる者は、み言葉による信仰の行いと挑戦の中で、神の栄光を現します。

☆アブラハム、ノア、ペテロ、パウロ・・・主の聖徒たちは、信仰によって
みことばに従い・行い・挑戦したので神の栄光を輝かせました。

b、私達も信仰による良い行いによって、良き挑戦によって神の栄光を輝かせましょう。

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、
天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。」　マタイ 5:16

①聖書は「キリスト信仰には行いが伴い」それが無いなら「その信仰は死んだもの」と教えます。

「・・信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。」　ヤコブ 2:17ｂ

②『行いの無い信仰は死んでいる』ので、当然神の栄光の輝きはありません。

☆病んでいる人、弱さの中にいる人のために、愛の行いをする人は、神の栄光を輝かせます。

c、主の十字架の福音を伝える中に、主の栄光は輝きます。

「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」　ローマ 10:15

☆「自分のからだを持って」福音を伝え「神の栄光を現し」輝かせます。　Ⅰコリント 6:20

（証）「良い知らせを伝える人たちの足」となって神の栄光を輝かせた

長野県坂城町の坂城栄光教会の宮尾隆邦（たかくに）牧師　水野源三とお母さん

☆宮尾牧師は、坂城町に住む水野源三（1937-1984）さんに、福音を伝え・キリストの救いに導き 12 歳の源三少年に洗礼を授けました。源三さんは９歳の時の赤痢の高熱による脳性麻痺で、目と耳の機能以外のすべてを失い、家の中でただ寝ているという絶望の日々にありました。宮尾牧師自身、進行性筋萎縮性という難病の影響で脚に障害を持ちながら二本の杖で体を支え歩いて源三少年の家に通い続け福音を伝え、やがて父も母も救われます。神の子とされた源三さんは、やがて神の恵みあふれる多くの詩を創作し「瞬きの詩人」と呼ばれるようになり、詩集や映画「瞬きの詩人」も制作され、その生涯で神の栄光を現しました。

4、「主の栄光を仰ぎ見て」キリストに似る人となり、神の栄光が輝きます。

「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」　Ⅱコリント 3:18

a、キリストを信じた者は、主の栄光を*「映す・反映させる・反射する」*者となります。

①キリストを信じた時から、あなたは、神の栄光を映し出す存在となりました。

「映しつつ」（*κατοπτριζόμενοι カトプトリゾメノイ【原語】*）

「反映させる。鏡に映す。反射する。」という意味・・「主を仰ぎ見て」と意訳できます。

②「主の栄光を仰ぎ見て」すなわち「主と主のことばにとどまり（ヨハネ 15:4,5）」「主と共に歩むこと」なら、神の栄光の光は段階的に明るくなるのです。また、継続的に輝いていくのです。

b、キリストを信じ「キリストを仰ぎ見て」いる者が、キリストの姿に似せられていくのです。

「主と同じかたちに姿を変えられていきます。」・・*「主と同じ姿に変えられていく。」【口語訳】*

神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、

われわれの似姿に造ろう。」　創世記 1: 26

①「主と同じかたち」・「主と同じ姿」にとは、私達が、神様のようになるということでなく、

神が人を創造した際の・・『神のかたち』・『神の似姿』・・に回復することなのです。

②あなたは、そのようにして神の栄光を輝かせることができるのです。

c、この驚くべき御業・・・「これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

「あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり・・」　Ⅰコリント6:19

「御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。」

ヨハネ 16:14

①贖われたあなたは今や聖霊の宮となり、聖霊があなたの内におられます。（ヨハネ 14:17）

②聖霊に満たされれば・満たされるほど、キリストの姿に変えられて行くので、神の栄光が輝きます。